

## 徒然想

今年もまた豪雨災害がおきてしまいました。被害にあわれた方には、あらためて心よりお見舞い申し上げます。大雨の音を聞いた時に、何かとてつもない不安感を覚える方も多いようです。それにしても、毎年のように発生する大規模な自然災害。加えて、まだまだ先の見えないコロナ禍。そして連日、目や耳に入ってくる殺伐としたニュース。私たちの弱った心に次々と棘を打ち込んでくるかのようです。しかし、それでも窓辺に置いた小さな鉢植えの木に水をやりながら、この季節に育つ新しい枝葉を見つければ、同じ心の中に少しだけでも明るい陽が差し込むようです。いえ、むしろそう思えるように、この先一步一步、私たちにも何ができるかを考えていければと思う次第です。

## TECHNICAL TOPICS 今月の技術情報

## 国立研究開発法人土木研究所の理事長表彰受賞

弊社は、国立研究開発法人土木研究所が令和元年度に発注した業務において、優秀な成果を挙げ、土木技術の向上に貢献したことを理由として、「優良業務」「優秀技術者」の理事長表彰を受けましたのでご報告させていただきます。2020年7月16日に土木研究所にて開催された表彰式では、弊社代表取締役社長花倉宏司とクリエイティブ事業部課長木本啓介が出席し、理事長より表彰状を頂きました。

令和2年度国立研究開発法人土木研究所優良業務等理事長表彰について(国立研究開発法人土木研究所)

>> 国立研究開発法人土木研究所 HP <https://www.pwri.go.jp/>

○優良業務及び優秀技術者

業務名: ロボットを用いた橋梁点検画像の取得評価業務

団体名・氏名: 株式会社計測リサーチコンサルタント 木本 啓介

当業務は、近接目視点検の効率化・高度化を目的として、高架橋やコンクリート床版橋を対象に、SIPインフラ<sup>※</sup>等で有用と評価されているロボットを用いて、0.2mm幅のひびわれを視認できる画像(近接画像)を取得し、撮影画像とそれらの画像から生成した3次元モデルの評価を行うものでした。

インフラ点検の効率化は喫緊の課題であり、今後、ドローン等のロボット技術の活用により、工期短縮、費用縮減、点検効率化、客観的データ取得による定量化・高度化などが期待されます。

業務の実施に当り、ご協力頂いた鳥取県、茨城県、そのほか多くの方々に感謝申し上げます。

弊社の技術が少しでも社会に貢献できるよう日々邁進してまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

※内閣府における戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)における、インフラ維持管理・更新・マネジメント技術



表彰式での記念撮影



弊社代表取締役社長 花倉宏司(左) 木本啓介(右)

詳しくは弊社 HP もご覧ください。 <http://www.krcnet.co.jp/topicsweb/topics148.htm>